

## 議案第 1 1 号

令和 4 年度白井市水道事業会計決算の認定について

地方公営企業法（昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号）第 3 0 条第 4 項の規定により、令和 4 年度白井市水道事業会計決算を別紙監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和 5 年 9 月 1 日提出

白井市長 笠 井 喜 久 雄

### 提案理由

本案は、令和 4 年度白井市水道事業会計決算を関係書類とともに監査委員の意見を付けて、議会の認定を求めるものです。

白 監 第 8 3 号  
令和 5 年 8 月 2 2 日

白井市長 笠井 喜久雄 様

白井市監査委員 河合 謹爾



白井市監査委員 小田川 敦子



令和 4 年度白井市水道事業会計決算審査意見書の提出  
について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された令和  
4 年度白井市水道事業会計決算を審査したので、次のとおり意見書を提  
出します。

令和4年度

白井市水道事業会計  
決算審査意見書

白井市監査委員

## 目 次

第一	審査の対象	1
第二	審査の期間	1
第三	審査の場所	1
第四	審査の方法	1
第五	審査の結果	1
第六	審査意見	1
第七	決算の概要	2
1	予算の執行状況	2
(1)	収益的収入及び支出	2
(2)	資本的収入及び支出	2
2	経営成績	3
(1)	損益計算書	3
(2)	業務実績	4
3	財政状況	5
	貸借対照表	5
参考		6
	経営分析比率	6

### 凡 例

比率（％）は、原則として小数点第2位以下を切り捨てして表示しました。

## 令和4年度 白井市水道事業会計決算審査意見書

### 第一 審査の対象

令和4年度 白井市水道事業会計決算

### 第二 審査の期間

令和5年8月7日（月）、8日（火）、9日（水）の3日間

### 第三 審査の場所

白井市役所 東庁舎3階 監査委員室

### 第四 審査の方法

決算の審査にあたっては、「白井市監査基準及び令和5年度白井市監査計画」に準拠して、令和4年度白井市水道事業決算及び事業報告書に基づき、計数の正否、予算執行の適否等について、的確に実施されているか否かについて、関係諸帳簿及び証書類を照合するとともに必要に応じて職員から説明を聴取し、例月現金出納検査及び定期監査の結果を参考として、審査を実施した。

### 第五 審査の結果

審査に付された水道事業会計決算書及び事業報告書については、決算審査資料、関係諸帳簿等と照合して審査を行った結果、計数は正確であり、予算の執行についても、目的に沿って適正に執行されており、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

### 第六 審査意見

財政状況については、収益的収支の状況は、水道事業収益 605,497,105 円に対し、水道事業費用 570,880,985 円で、収益的収支差引 34,616,120 円の純収益が生じ、この結果、当年度未処分利益剰余金が 186,355,357 円となっている。

資本的収支は、資本的収入額 70,728,000 円に対し、資本的支出額 108,842,167 円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する 38,114,167 円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び留保資金 38,114,167 円で補てんされている。

水道事業の経営基盤を示す経営分析比率を見ると、いずれも良好な数値とは言えず、必要な収入を確保するためには、他会計からの補助金に頼らざるを得ない厳しい経営状況ではあるが、前年度と比較すると補助金は減少しており、経営基盤の改善に努められている点は評価できる。

今後も安全で良質な水を安定して供給するため、効率的な事業運営を進めていくことを望むものである。

## 第七 決算の概要

### 1 予算の執行状況

#### (1) 収益的収入及び支出

##### 収入

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	執行率(B/A)
水道事業収益	623,621,000	651,214,540	27,593,540	104.4
1 営業収益	442,512,000	445,928,026	3,416,026	100.7
2 営業外収益	181,108,000	205,286,514	24,178,514	113.3
3 特別利益	1,000	0	△ 1,000	0.0

##### 支出

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	不用額(A-B)	執行率(B/A)
水道事業費用	623,621,000	610,429,126	13,191,874	97.8
1 営業費用	612,031,000	601,876,835	10,154,165	98.3
2 営業外費用	8,550,000	8,549,971	29	99.9
3 特別損失	40,000	2,320	37,680	5.8
4 予備費	3,000,000	0	3,000,000	0.0

収益的収入は、予算額は 623,621,000 円に対し、決算額は 651,214,540 円で、増減額は 27,593,540 円の増額となっている。

収益的支出は、予算額は 623,621,000 円に対し、決算額は 610,429,126 円で、不用額は 13,191,874 円となっている。

#### (2) 資本的収入及び支出

##### 収入

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	執行率(B/A)
資本的収入	99,848,596	70,728,000	△ 29,120,596	70.8
1 企業債	51,000,000	45,800,000	△ 5,200,000	89.8
2 出資金	40,302,596	16,382,000	△ 23,920,596	40.6
3 補助金	8,546,000	8,546,000	0	100.0
4 負担金	0	0	0	

##### 支出

(単位:円・%)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	翌年度繰越額(C)	不用額(A-B-C)	執行率(B/A)
資本的支出	364,724,526	108,842,167	255,881,520	839	29.8
1 建設改良費	329,989,526	74,108,006	255,881,520	0	22.4
2 企業債償還金	33,695,000	33,694,889	0	111	99.9
3 補助金返還金	1,040,000	1,039,272	0	728	99.9

資本的収入は、予算額は 99,848,596 円に対し、決算額は 70,728,000 円で、増減額は 29,120,596 円の減額となっている。

資本的支出は、予算額は 364,724,526 円に対し、決算額は 108,842,167 円で、不用額は 839 円となっている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 38,114,167 円については、過年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額及び留保資金 38,114,167 円で補てんされている。

## 2 経営成績

### (1) 損益計算書

(単位：円・%)

区 分	金 額		比 較	
	(A)令和4年度	(B)令和3年度	(C)増減額 (A-B)	増減率(C/B)
営業収益	405,847,778	412,779,834	△ 6,932,056	△ 1.6
営業費用	562,022,863	549,962,167	12,060,696	2.1
営業利益(△営業損失)	△ 156,175,085	△ 137,182,333		
営業外収益	199,649,327	217,765,192	△ 18,115,865	△ 8.3
営業外費用	8,856,012	9,452,244	△ 596,232	△ 6.3
経常利益 (△経常損失)	34,618,230	71,130,615		
特別損失	2,110	0	2,110	
当年度純利益 (△純損失)	34,616,120	71,130,615		
当年度未処分利益剰余金	186,355,357	151,739,237		

営業収益 405,847,778 円の内訳は、給水収益 404,337,520 円、その他の営業収益 1,510,258 円で、前年度と比較して、給水収益は 6,903,219 円の減少、その他の営業収益は 28,837 円の減少、全体で 6,932,056 円の減少を示している。

営業収益に対応する営業費用 562,022,863 円の内訳は、原水及び浄水費 302,339,560 円、配水及び給水費 61,333,773 円、総係費 66,306,936 円、減価償却費 127,261,408 円、資産減耗費 4,781,186 円で、前年度と比較して、原水及び浄水費 4,317,424 円の減少、配水及び給水費 6,883,553 円の増加、総係費 2,586,839 円の増加、減価償却費 2,126,542 円の増加、資産減耗費 4,781,186 円の増加、全体では 12,060,696 円の増加を示している。

営業外収益 199,649,327 円の内訳は、給水申込納付金 24,530,000 円、他会計補助金 88,281,000 円、県補助金 41,475,000 円、長期前受金戻入 45,270,582 円、雑収益 30,135 円、引当金戻入益 62,610 円で、前年度と比較して、18,115,865 円の減少を示している。

営業外費用 8,856,012 円の内訳は、支払利息及び企業債取扱諸費 8,549,971 円、雑支出 306,041 円で、前年度と比較して、596,232 円の減少を示している。

特別損失の内訳は、過年度損益修正損 2,110 円で、前年度と比較して 2,110 円の増加を示している。

この結果、営業収益より営業費用が上回り、営業損失が 156,175,085 円となっている。

この営業損失に営業外収益及び営業外費用を加減した経常利益は 34,618,230 円、経常利益に特別損失を加えた当年度純利益は、前年度と比較して、36,514,495 円減少し、34,616,120 円となっている。

(2) 業務実績

区 分	(A)令和4年度	(B)令和3年度	比 較	
			(C)増減 (A-B)	増減率 (%) (C/B)
年度末給水人口 (人)	19,656	19,824	△ 168	△ 0.8
年度末給水戸数 (戸)	8,069	8,065	4	0.0
年間給水量 (m <sup>3</sup> )	1,773,215	1,798,887	△ 25,672	△ 1.4
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	1,748,092	1,776,744	△ 28,652	△ 1.6
有収率 (%)	98.5	98.7	△ 0.2	△ 0.2
供給単価 (円)	231.3	231.4	△ 0.1	0.0
給水原価 (円)	300.6	289.8	10.8	3.7

年度末給水人口は19,656人で、前年度と比較して、168人の減少となり、年度末給水戸数は8,069戸で、前年度と比較して、4戸の増加となっている。

年間給水量は1,773,215 m<sup>3</sup>で、前年度と比較して、25,672 m<sup>3</sup>の減少となり、年間有収水量は1,748,092 m<sup>3</sup>で、前年度と比較して、28,652 m<sup>3</sup>の減少となっている。

有収率は98.5%で、前年度と比較して、0.2ポイントの減少となっている。

供給単価と給水原価を比較すると、69.3円の増加となっている。

この差額を改善していくためには、適切な対応を講じていく必要がある。



### 3 財政状況

#### 貸借対照表

(単位：円・%)

区 分	金 額		比 較	
	(A)令和4年度	(B)令和3年度	(C)増減額 (A-B)	増減率(C/B)
固 定 資 産	4,145,093,728	4,209,197,610	△ 64,103,882	△ 1.5
流 動 資 産	1,132,615,842	1,022,427,743	110,188,099	10.7
資 産 合 計	5,277,709,570	5,231,625,353	46,084,217	0.8
固 定 負 債	1,120,648,303	1,118,923,380	1,724,923	0.1
流 動 負 債	112,148,385	81,023,357	31,125,028	38.4
繰 延 収 益	1,417,336,847	1,455,100,701	△ 37,763,854	△ 2.5
負 債 合 計	2,650,133,535	2,655,047,438	△ 4,913,903	△ 0.1
資 本 金	2,440,883,309	2,424,501,309	16,382,000	0.6
剰 余 金	186,692,726	152,076,606	34,616,120	22.7
資 本 合 計	2,627,576,035	2,576,577,915	50,998,120	1.9
負債・資本合計	5,277,709,570	5,231,625,353	46,084,217	0.8

#### ○資 産

資産の総額は 5,277,709,570 円で、前年度と比較して、46,084,217 円の増加となっている。

そのうち、固定資産は 4,145,093,728 円で、前年度と比較して、64,103,882 円の減少となっている。

流動資産は 1,132,615,842 円で、前年度と比較して、110,188,099 円の増加となっている。

#### ○負 債

負債の総額は 2,650,133,535 円で、前年度と比較して、4,913,903 円の減少となっている。

そのうち、固定負債は 1,120,648,303 円で、前年度と比較して、1,724,923 円の増加となっている。

流動負債は 112,148,385 円で、前年度と比較して、31,125,028 円の増加となっている。

繰延収益は 1,417,336,847 円で、前年度と比較して、37,763,854 円の減少となっている。

#### ○資 本

資本の総額は 2,627,576,035 円で、前年度と比較して、50,998,120 円の増加となっている。

そのうち、資本金は 2,440,883,309 円で、前年度と比較して、16,382,000 円の増加となっている。

剰余金は 186,692,726 円で、前年度と比較して、34,616,120 円の増加となっている。

参 考

経営分析比率

(単位：千円)

区 分	比 率		算 式 等
	令和4年度	令和3年度	
自己資本構成比率	76.6%	77.0%	自己資本 ÷ 負債・資本合計 × 100
営業収支比率	72.2%	75.0%	営業収益 ÷ 営業費用 × 100
施設利用率	88.5%	88.1%	一日平均配水量 ÷ 配水能力 × 100
最大稼働率	100.0%	100.0%	一日最大配水量 ÷ 配水能力 × 100
経営資本回転率	0.080回/年	0.082回/年	営業収益 ÷ 経営資本 (総資産-建設仮勘定)

区 分	令和4年度	令和3年度	県平均値 ※1	全国平均値 ※2
給水人口 ※3	3,931人	3,965人	2,788人	2,578人
有収水量 ※3	349,618m <sup>3</sup>	355,349m <sup>3</sup>	299,344m <sup>3</sup>	297,428m <sup>3</sup>
営業収益 ※3	81,169千円	82,555千円	69,963千円	54,527千円

※1

令和3年度市町村公営企業決算概況(千葉県 給水人口1.5万人以上3万人未満)から積算

※2

令和3年度地方公営企業年鑑(給水人口1.5万人以上3万人未満)から積算

※3

いずれも職員一人あたりの数値(令和4年度損益勘定所属職員数(水道事業の営業活動に従事する職員 令和3年度：5名、令和4年度：5名))